

こんにちは、虹色通信(なないろつうしん)です。

こんにちは、いつもお世話様です。虹色通信(なないろつうしん)です。去る7月18・19日の大雨により、長和町も20年振りの大水になりました。私も消防団で出動しましたが、このような大水は見た事なかったです。もう橋の欄干(らんかん 手すりの事)近くまで水が来ていました。我が地元の地域も2カ所で石垣が崩れ、堤防が壊れそうになりました(写真1・2・3・4)。このような災害は何10年周期に起きると思いますが、当事者になってみて感じた事があります。それは、いざという時に備えができていない事です。私達、消防団も水害に対しても備えが不十分でした。何かをやるにしても、「あれがない、これがない」いざという時に備えが足りなくて、慌てたのが現状でした。ですが、住民の方の手助けで、何とか被害は最小限に防げました。これを教訓に私一人としても、災害に対して心掛けていきたいと思いました。備えあれば、憂いなしです！



写真1



写真2



写真3

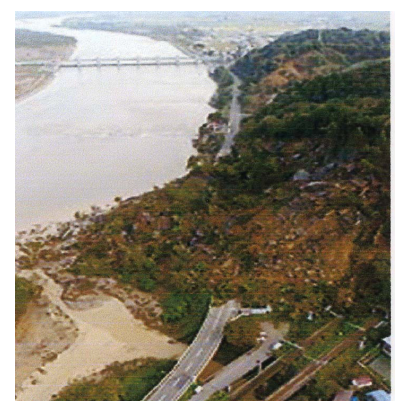


写真4

さて26回目のお話を始めたいと思います。今回は、前編で水害に触れましたので、「地盤」の事について、お話したいと思います。

そもそも、住宅が建つ地域というのは、昔から祖先が住み着いた場所に家があり、その場所で建替えされていくので、地盤は昔から住んでいる場所、すなわち踏み固められてる土地なので、地盤がしっかりしています。しかし場所によっては、川・水田に近い場所ですと、遥か昔は川や海だったという場合があります。どうしても水に近い場所ですと、地盤が弱い可能性があります。

また、埋土や切土の場合も地盤が弱いです。埋土(うめど)は、前の地盤に土を盛って作った地盤です。切土(きりど)は山になっていた土地を切り取って、作った土地です。ですので、どちらも地震が起きた際は、災害に遭う可能性も高いです。埋土は地盤沈下、切土は土砂崩れ等の現象が見られる事もあります。埋土は埋めてる分、土地の地耐力が均等でない為に起こり、切土は土地を切って削って作るのので、山間地に近い場合が多いのです。いずれにしても、このような土地を買わない方が望ましいですが、万が一どうしても買われる場合があるならば、必ず地盤調査や場合によっては、基礎の下に杭(くい)を打つ事をお勧めします。買われるにも、十分な調査をされて、買われた方が良くと思います。(下は新潟の中越地震の写真です。)



M-ONE HOME

集い(つどい)

(株)モリケン

TEL:(0268)68-2225 FAX:(0268)68-2196 森田携帯(090)2215-8356

URL: <http://www.moriken-motto.com> E-mail: mail-info@moriken-motto.com